

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（豊平会場）

質 問	回 答
<p>豊平地域できたひろネットの加入者はどのくらいいるのか。</p> <p>事業に係る費用について未加入者はどのようになるのか。</p> <p>電話番号はいつ変わるのか。書類の期限はいつ頃なのか。</p> <p>FTTH化事業について、医療・福祉・産業・教育分野においてどの程度活かしていくのか。</p>	<p>豊平地域におけるきたひろネットの加入率は、約68%程度。件数にすると1000件程度。加入者については、負担なしで切替が可能。新サービスについては、各々の希望に合わせて選択可能。</p> <p>未加入者については、今後加入してほしい。宅内工事は実費負担となるが、引込工事を減免し、新サービスが始まる際に加入した場合は、費用負担の必要なし。また、現在調整中であるが、㈱ちゅピ・COMの加入キャンペーンとして、引込工事については安価に接続できる可能性がある。今後も色々な情報を随時お知らせしていく。来年には、詳細について説明会や個別の質問にも対応していく。</p> <p>IP電話については、㈱ちゅピ・COMのサービスに加入したとき、新たな番号が振られることになる。また、希望があれば、NTTで使用していた番号をIP電話の番号として利用することが可能となる。NTT未加入者については、新規の番号が割り振られることとなる。</p> <p>今後様々なことが可能となってくる。ICT化が進んでいる企業もあり、本町についてもDXチームを立ち上げた。広島県全体でもDXについて取り組んでいこうとする姿勢であり、関連機関とも連携し研修会等で学んでいく。現在のコロナ禍においてもテレワークやサテライトオフィス等で利用できるものになるため、環境の整備をし、定住につなげていきたい。医療・福祉・産業・教育分野のみならず、農業・林業についても大きく変わっていきける要素を含んでいるので、町民の皆さんとともに作り上げていきたい。また、教育分野においてはGIGAスクールという取り組みも始まった。GIGAスクールとは、すべての児童・生徒にタブレット端末を配付し、学習道具として使用する取り組み。来年の4月からスタートするに当たり、学校内の準備を進めているところで、将来的には各家庭にも光ファイバーを引き、学校と家庭間でリモート学習できる環境を作っていく。</p>
<p>FTTH化事業後のサービスの概要について、今回の事業予算の中には、福祉や防災などのサービスは費用に含まれていないのか。</p> <p>また、これらのサービスにおける今後の展望は。</p>	<p>FTTH化事業は、これらのサービスを行うための導入事業であり、これを基盤として行っていく。現段階では、いつ頃に何をするかという計画はないが、DXチームを立ち上げ、その方向性について検討しているところで、町内でどのようなサービスが有効か、順位をつけ実現性も含めて計画を立てていく。</p>

## 令和2年度まちづくり懇談会 意見交換要旨（豊平会場）

質 問	回 答
<p>きたひろネットの加入率について、豊平以外の地域についてはどのくらいか。</p> <p>防災関係について、高齢者が情報を手に入れる場合のケアをどのようにしていくのか。</p> <p>今年の土砂災害でふさがった道路があり、除雪の際に支障をきたす恐れがあるが、どうするか。</p>	<p>きたひろネットの加入率については、芸北地域は100%、大朝地域は62%、千代田地域は62%という状況である。</p> <p>防災行政無線が廃止になる中で、高齢者の方に際しては、きたひろネットへの加入で固定の受信機を設けることや各地域での自主防災組織による共助で支えてほしい。さらに、情報が行き届かない場合は、各地域でピックアップして名簿を作成するなど、逃げ遅れる者がいないよう、皆で支えあってほしいと考えている。</p> <p>除雪の支障になる箇所については、早急に対応していきたいと考えている。災害箇所は相当数あり、特に豊平地域については大きな被災が目立つ。広域農道については、査定を早めてもらっており、工期を今年末までとしているが、それまでには終わる見込みである。そのほかについても鋭意施工中であり、片側通行となる箇所もあるが、引き続きご理解、ご協力をお願いしたい。</p>
<p>きたひろネット放送で、拠点地区の避難所開設情報は開設時間に放送される。事前の情報は各地区の自主防災会に連絡をすれば良いのでは。</p>	<p>確かに、早めの気象情報、対応情報がタイムリーに行き届いていない状況や自主防災組織にそのタイミングでお知らせしていないことがある。地域の方で、危機管理課担当者を呼んでいただき、説明等対応してしていきたい。</p>
<p>町内に出産できる施設が欲しい。我が家でも今年子供が誕生したが、町外まで出向いた。今後、町内に出産できる施設の設置計画があるか。</p> <p>今年から助産師による産後ケアをスタートしてもらっており、そこについては感謝している。そういった事業は引き続き継続していただきたい。</p>	<p>町内には残念ながら、少し前まであった出産可能な施設が無くなってしまった。近隣市町にもあまりそういった施設がない状況であり、ご負担をかけている。少子化の中で、24時間体制で組んでいかなければならず、一人のドクターでは立ち行かず、複数人を要する。施設が設置できればという思いはあるが、現実的にはハードルが高く、現段階ではそのような計画はない。引き続き、県等にも要望していきたい。</p> <p>“てごてご”という名で、子育て支援をしていこうという取り組みを実施している。マイ保健師が情報提供、状況確認しながらコーディネートしている。分娩できる産婦人科はないが、その辺りをカバーできるような取り組みを行っていききたいと考えている。</p>
<p>FTTH化事業のような大きな事業も必要だが、規模の小さい事業も必要である。豊平地域では毎年要望書を提出しているが、財政難を理由としたような、例年同じ回答ばかりになっている。もう少し地域の要望を汲んだ回答がほしい。</p>	<p>お気持ちは痛いほどわかる。可能な限り、地域の要望には応えていきたいと思っている。しかしながら、見通しが立たないことも現実である。今年もコロナ等の予期していないことが起き、毎年基金を取り崩して運営している。災害も4年連続で起きている状況下で、財政的にかなり厳しい。優先順位を付けながら、やるべきことは少しずつでも前に進めていきたいと思っている。我々も歯がゆい思いはあるが、引き続き、ご理解を賜りたい。</p>